

インプラント一覧

● トゥリアスフェモラルネイル

商品コード	規格
T-1125.09	9mm×17cm×125°
T-1125.10	10mm×17cm×125°
T-1125.11	11mm×17cm×125°
T-1125.12	12mm×17cm×125°

● セットキャップ

商品コード	規格
T-1500.00	0mm
T-1500.05	5mm

● ラグスクリュー

商品コード	規格
T-1200.075	75mm
T-1200.080	80mm
T-1200.085	85mm
T-1200.090	90mm
T-1200.095	95mm
T-1200.100	100mm
T-1200.105	105mm
T-1200.110	110mm

● アンチローテーションラグスクリュー

商品コード	規格
T-1210.55	55mm
T-1210.60	60mm
T-1210.65	65mm
T-1210.70	70mm
T-1210.75	75mm
T-1210.80	80mm
T-1210.85	85mm

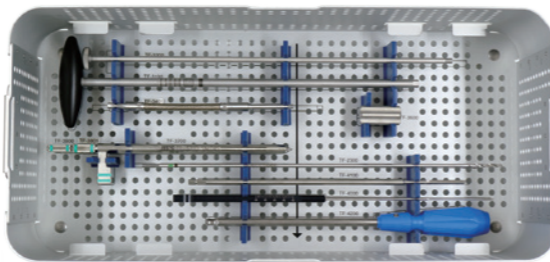
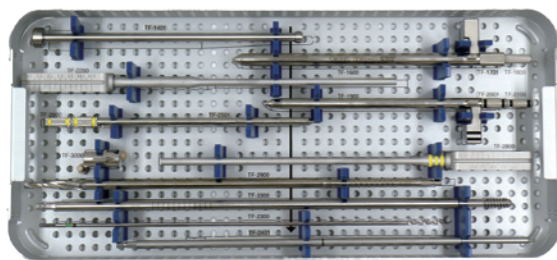
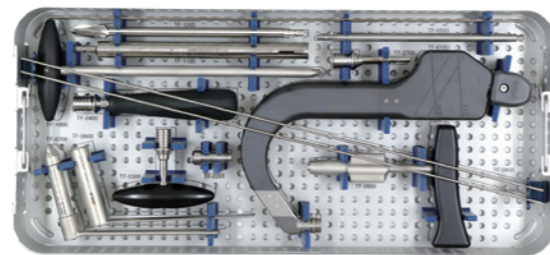
● コーティカスクリュー

商品コード	規格
T-1300.30	30mm
T-1300.32	32mm
T-1300.34	34mm
T-1300.36	36mm
T-1300.38	38mm
T-1300.40	40mm
T-1300.42	42mm

承認番号：22500BZX00412000
販売名：トゥリアス フェモラルネイルシステム

省スペース化を実現したケースデザイン

インストゥルメントケースは、計算しつくしたレイアウトとなっています。上段から使用順に配置され、看護師による器械出しや使用順に並べることなく手術ができます。また、スペースが省けます。



届出番号：13B1X00142000034
販売名：TFインストゥルメント

【禁忌・禁止】

- インプラント
 - 再使用禁止
 - 固定の為の骨量、骨質が不十分な患者〔ルーズニングなどにより十分な臨床効果が得られない場合がある〕
 - 身体的、精神的な障害の為、医師の指示に従えない患者〔手術後の制限事項や注意事項が守られないことによる破損や十分な臨床効果が得られない可能性がある〕
 - インプラントに含まれている成分にアレルギーがある患者〔アレルギー反応を起こす可能性がある〕
 - 重度の肥満症、重度の糖尿病、重度の血管障害のある患者〔インプラントの破損、感染症が起こる恐れがある〕
 - 他社製のインプラント及び専用品以外の手術器械と併用しないこと〔「相互作用」の項参照〕
 - インプラントを傷つけたり折り曲げたりしないこと〔疲労強度の低下、破損に繋がる恐れがある〕
 - 材質の異なる製品と接触させないこと〔体内で異種金属を接触させると電気化学的腐食が促進される〕
- インストゥルメント
 - 本製品の曲げ、切削、打刻等の二次加工はしないこと〔疲労強度の低下、破損に繋がる恐れがある〕

製造販売元

MES 株式会社 **エム・イー・システム**

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-13-4
TEL.03-3375-6767 FAX.03-3375-8011

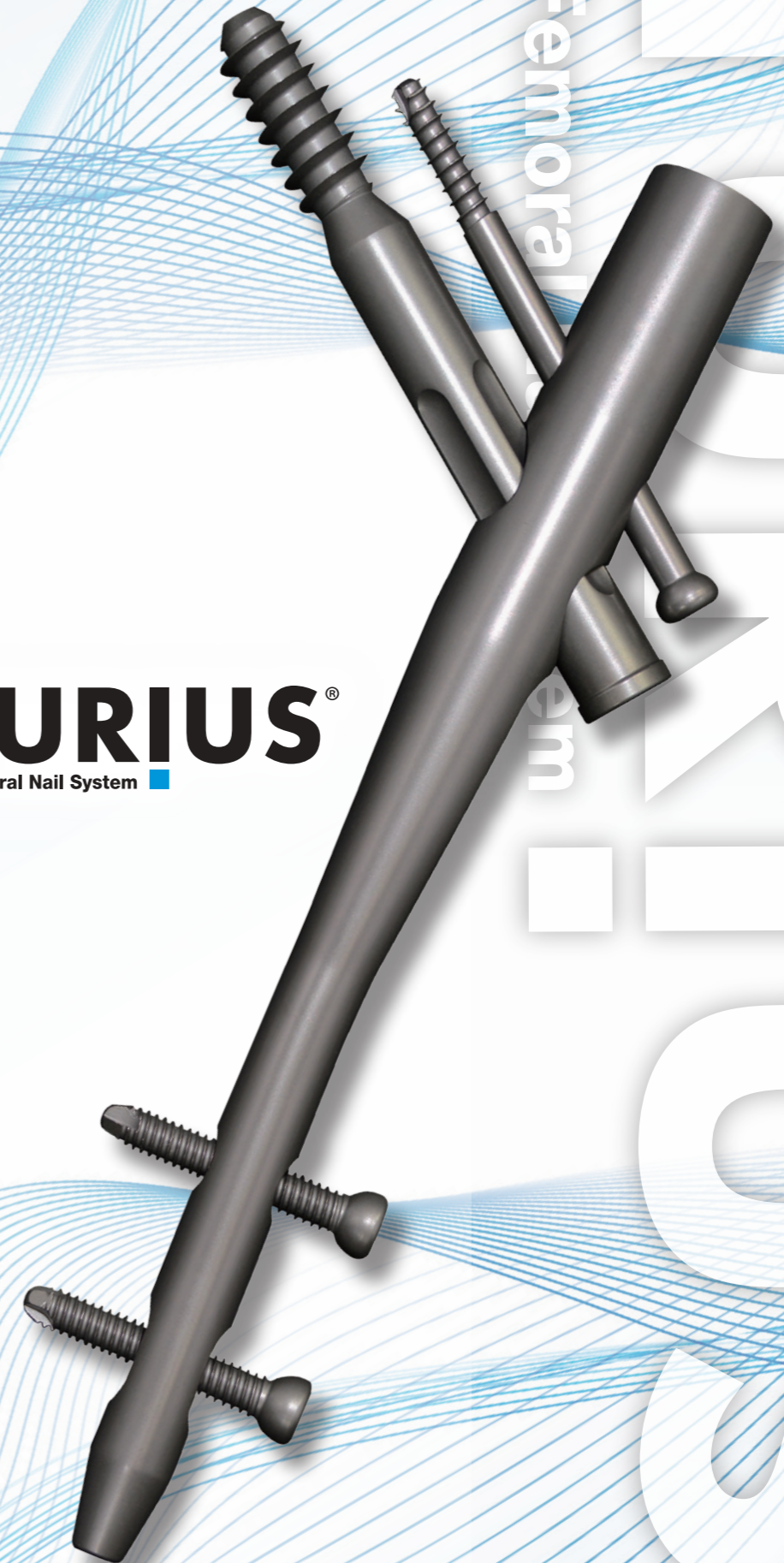
<http://www.mesystem.co.jp/>

代理店

MES

Medical
Engineering
System

TURIUS[®]
Femoral Nail System



エム・イー・システム

1万例の実績をもとに、 進化し続けるネイルシステム。

多くのDr.の声と、
これまで積み重ねてきた臨床データをもとに、
綿密な計算に基づき設計改良した
「TURIUS Femoral Nail」。
今ある、最高のパフォーマンスを実現しました。

高い髄腔適合性が望める 豊富なサイズオプション

遠位径は9~12mmの
1mm刻みから選択できます。
骨格に合わせたベストマッチサイズを選べます。

【TURIUS】 全長:17cm / 近位径:16mm
遠位径:9、10、11、12mm

頸体角:125°

挿入性を高めたセットキャップ

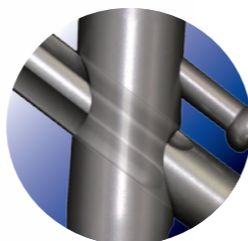
サイズは、0mm / 5mmの
2種類から選択できます。



【ラグスクリュー】
スレッドは、カットアウトしにくく、セルフタ
ップが容易になり、固定性もさらにアップしま
した。

最小限のスクリーの間隔は、 骨頭の小さい 日本人にベストサイズ

ラグスクリューの
回旋を防止し、
術後のバックアウト
を防ぎます。



ネイルラテラルベントは 5度でスムーズに挿入ができます。

コーティカルは、30~42mmまで
2mm刻みから選択できます。

ネイル近位部を可能な限り短く、
骨格の小さな日本人への
適合性を高めました。

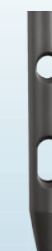
髄腔内のスタビリティと 挿入性がアップ

ネイルの外側を削り、平面形状にすることにより、髄腔内の
ネイルの固定性がよりアップしました。また、平面形状はラ
グスクリューホール直下にあり、狭窄部に対してスムーズ
に挿入することができるようになりました。手術時間短縮も
実現可能です。



スタティックホール・ ダイナミックホールを配置。

ネイルの固定性をさらに上げるため、近位側に
スタティックホールを配置しました。
症例によっては、ダイナミックまたはスタティック
固定が選択できます。



取扱説明書



TURIUS®

Femoral Nail System 

エム・イー・システム

目次

コンセプト	2
適応症.....	2
術前準備 -体位-	3
術前準備 -ネイルの組立て-.....	4
術前準備 -整復-	4
基本手術手技.....	5
1. はじめに.....	5
2. エントリーポイントの決定.....	6
3. エントリーホール作成.....	7
4. ネイルの挿入.....	8
5. シースの挿入.....	9
6. ガイドピンの挿入とラグスクリューのサイズ計測.....	10
7. ARスクリューのドリリングとスクリュー挿入.....	11
8. ラグスクリューのドリリング	13
9. ラグスクリューの挿入.....	14
10. TSガイドのセット	15
11. 遠位スクリューの挿入.....	16
12. インサイトジグの取り外し	19
13. セットキャップの取り付け	19
ネイルの抜去.....	20

コンセプト

TURIUS[®] Femoral Nail System (TF ネイル)は、術中・術後の回旋予防の考えをもとに、10.5 mmラグスクリューと 5.0 mmアンチローテーションラグスクリュー (AR スクリュー) の2本のスクリューを用いたガンマタイプの髓内釘です。

ラグスクリューと AR スクリューのピン間を狭くすることにより、今まで難しいとされていた小柄な日本人の頸部にもスクリューを2本挿入することが容易に行えます。

それにより術後骨折部の高い安定性が得られ、患者の疼痛を減らすことでADLを高めることが出来ます。

また、TF ネイルはアンリームド髓内釘の考えから、ネイル遠位径を9 mmから1 mm刻みで4種類用意しており、様々な症例に応じて使い分けが可能です。

ネイル遠位に挿入する横止めスクリューには強度を高めた5.0 mmコーティカルスクリューを2 mm刻みでご用意しており、患者の骨格に合わせたより正確で緻密なインプラント選択を行えます。

適応症

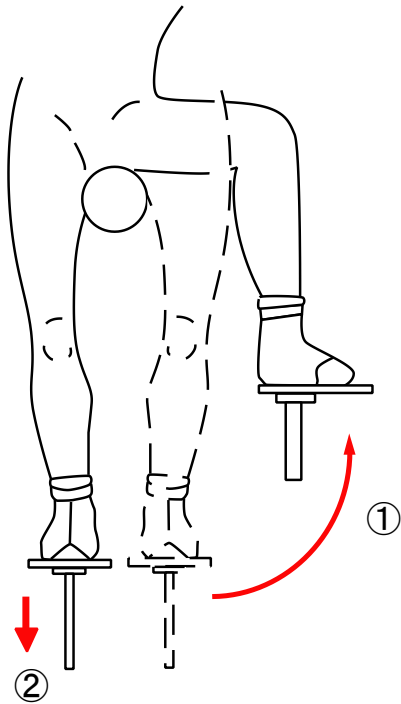
本製品の適応症は下記の通りです。

大腿骨 転子部骨折
頸基部骨折



術前準備 -体位-

手術前に必ず下肢牽引台とイメージを使用して整復位を得られるか、または徒手整復にて整復されるかを確認します。



患者を仰臥位で牽引台上に体位をとります。

健側を股関節屈曲・外転、膝関節屈曲位にし、支脚器に固定させます。

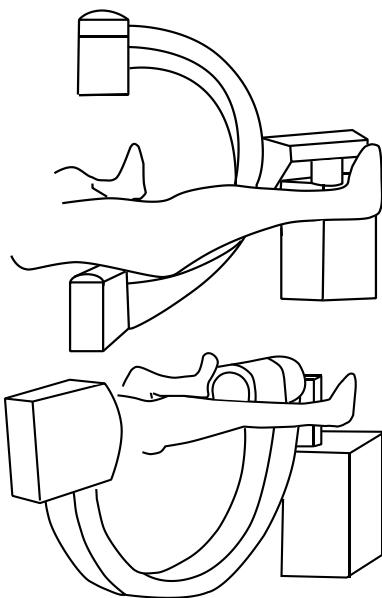
一般的な転子部骨折は牽引と大腿骨の内旋により整復されます。

適切な整復位が得られるまで大腿骨を牽引・内旋させます。整復の目安は大転子頂点と骨頭中心が同じ高さになるまでです。

安定型の転子部骨折は以上の操作で整復されますが、不安定型の骨折では整復が困難な場合があります。

この整復操作にて良好な整復位を得ますが髄腔にネイルを挿入する為、体幹に対して患肢を内転させる必要があります。

患側の内転する程度は大腿骨軸上の延長上に腸骨がかぶらない程度まで行ってください。



最後に正面像・軸射像を確認し、良好な整復位が得られているかを確認します。

また、イメージの角度、位置を調整し、正しい正面像、軸射像が常に得られるようにイメージを操作してください。

以上の操作を手術前に必ず行い良好な整復位を得ることは、術中オペレーションをスムーズにさせる為に非常に重要です。

●テクニカルヒント

イメージセッティング前に患者の骨盤と地面が平行になるようにベッドを傾けるとガイドピン挿入時(P10)、3次元イメージがとり易くなります。

術前準備 -ネイルの組立て-

TF-0301 : Tハンドル

TF-0500 : ボール六角ドライバー

TF-0201 : ロッキングボルト

TF-0150 : ターゲットモジュール 125° × 17 cm



Tハンドルにボール六角ドライバーをセットします。

テンプレティングにて選択されたネイルをターゲットモジュールに取り付けロッキングボルトで固定します。

ネイルの締結に緩みが生じるとスクリーウの挿入位置がずれる恐れがあります。取り付け後、ネイル、ターゲットモジュールにガタつきが無いことを確認してください。

術前準備 -整復-

TF-6400 : TF エレバトリウム(本体)

TF-6500 : TF エレバトリウム(打込器)



●テクニカルヒント

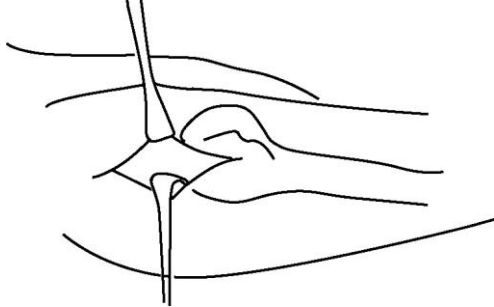
TF エレバトリウム(本体)の先端は鋭利な形状をしているので、創内での操作を愛護的に行ってください。

TF エレバトリウム(本体)には、1.8 mm K-Wire が挿入可能な中空穴が設けてあるので、必要な場合は併用して整復操作が可能です。

基本手術手技

1. はじめに

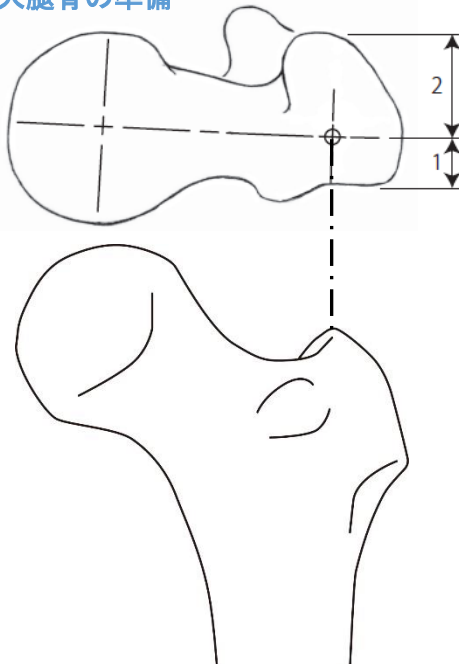
①皮膚切開



大転子の先端を触診によって判断し、そこから大腿骨軸延長上近位方向に向かって数cm皮膚切開します。

大腿筋膜を切開し、中臀筋を分けながら大転子の先端まで展開します。

②大腿骨の準備



エントリーポイントは、大転子の頂点より前方で、前方約1/3となります。

頂点の位置特定は触診とイメージで行います。

エントリーポイントの決定は非常に重要です。

大腿骨の湾曲が強く、後方からエントリーされるとネイルの先端が大腿骨前方に接触するため挿入時に再骨折する恐れがあります。

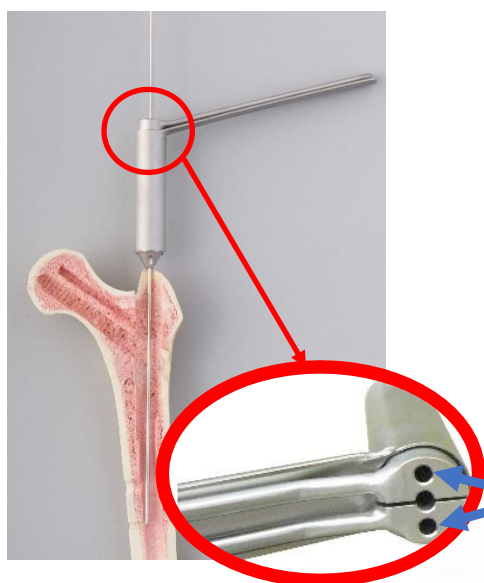
2. エントリーポイントの決定

～ロングガイドピンを使用する場合～

TF-0600 : プロテクションキャニュラ

TF-0700 : スプリットトロッカー

TF-0800 : 2.5 mm ロングガイドピン



皮切後、AP 画像と側面画像で大腿骨骨幹部の軸ラインに合わせ、スプリットトロッカーを組み合わせたプロテクションキャニュラを用いて 2.5 mm ロングガイドピンをパワードリルもしくはガイドワイヤーグripperを用いて刺入します。

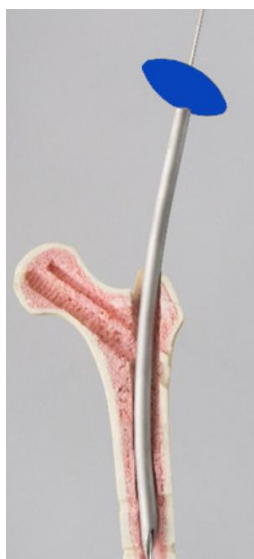
ガイドピンが適切な配置でない場合は隣接したガイドホールを利用して 2 本目のピンを刺入できます。

隣接したガイドホール

～キャニュレイテッド カーブオウルを使用する場合～

TF-1001 : キャニュレイテッド カーブオウル

TF-0800 : 2.5 mm ロングガイドピン



皮切後、AP 画像と側面画像で大腿骨骨幹部の軸ラインに合わせ、キャニュレイテッド カーブオウルを刺入、2.5 mm ロングガイドピンを刺入します。

2.5 mm ロングガイドピンが抜けやすいよう注意しながらキャニュレイテッド カーブオウルを抜きます。

故意に曲げたガイドピンのご使用はおやめください。

3. エントリーホールの作成

TF-1201 : 16.5mm キャニューレイトッド エントリーリーマー

TF-1100 : ホローリーマー



16.5 mmキャニューレイトッド エントリーリーマー
で大腿骨の近位部をリーミングします。

目安は小転子までです。



骨折線が大転子のネイル挿入付近にある場合、ホ
ローリーマーを使用すると、骨折部が開くことな
くリーミングできます。

4. ネイルの挿入

TF-0800 : 2.5 mm ロングガイドピン

TF-1401 : インパクター

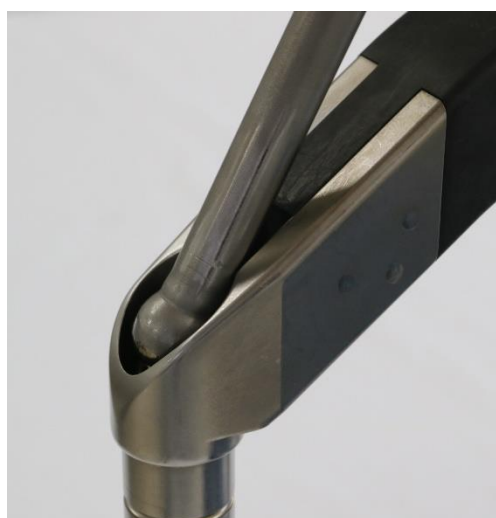


術前準備 (P4.ネイルの組立て) にて準備したネイルを2.5mm ロングガイドピンに添って挿入します。

ガイドピン等を用い、イメージ下にて適切なネイル位置を決定します。

適切なネイル位置はラグスクリューが内側弓状線のすぐ近位になる位置です。

ネイル挿入後、2.5mm ロングガイドピンの抜き忘れにご注意ください。



挿入でハンマーを使用する場合は、インパクターを使用してください。

インパクターがターゲットモジュール内のロッキングボルトに接触していることを確認してから、愛護的にインパクターをハンマーで叩いて挿入してください。(接触は軽い力で叩き金属音がすることで確認できます。)

強い力での挿入は、ネイルの過挿入及び二次骨折を引き起すので注意してください。

●テクニカルヒント

ターゲットモジュールを直接ハンマーで叩く事は絶対に止めてください。ターゲットモジュールの破損の原因となります。大腿骨幹部の二次的骨折を引き起こし兼ねない過剰な力がかかる事は避けてください。

5. シースの挿入

※AR スクリューサイズを計測して挿入する場合、P.12 のテクニカルヒントの手順を行ってください。

TF-1601 : ラグスクリュー シース



TF-1900 : AR シース



TF-1702: ラグスクリュー ピンガイド



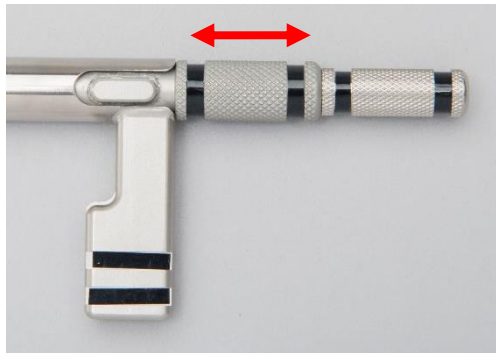
TF-2001 : AR ドリルガイド



TF-1801: ラグスクリュー トロッカー



TF-2100 : AR ドリルトロッカー

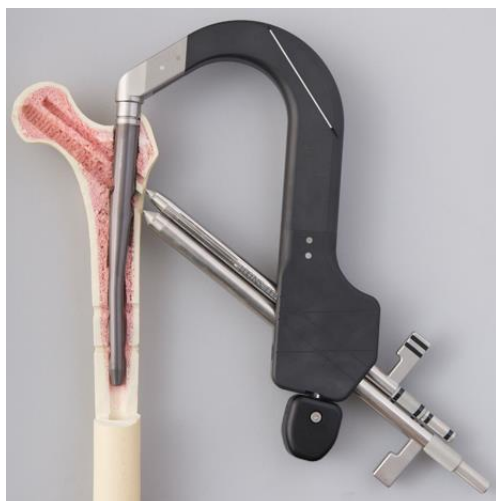


各々のシース、ガイド、トロッカーは左図のように組み合わせます。



ロック 解除
シースロックレバー

シースをターゲットモジュールに挿入する前に、シースロックレバーが「解除」の状態になっていることを確認してください。



組み合わせた各々のシース類を、ターゲットモジュールに通し、皮膚上に切開箇所をマークした後、進入方向へ切開を行います。

それぞれのトロッカーの先端が、必ず皮質骨に接触するまで挿入し、トロッカーを抜きとります。

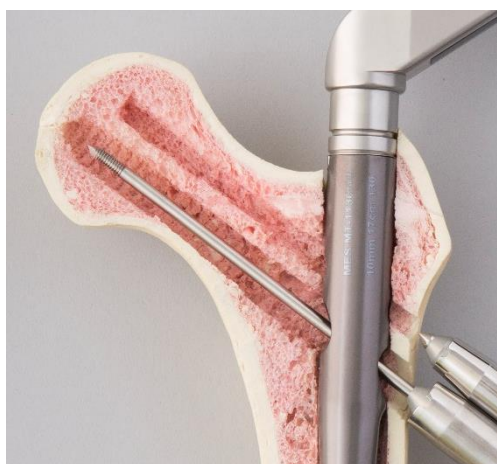


各々のガイド[®]とシース[®]を皮質骨に押し当て、その状態でシースロックレバー[®]を90度回転させ、シースをロックします。

6. ガイドピンの挿入とラグスクリューのサイズ計測

TF-1301 : 3.2mm ガイドピン 465mm

TF-2200 : ラグデプスゲージ



ガイドピンを挿入する際、ガイドピン先端を皮質骨に軽く当てて2秒ほど回転させるなどして、確実に刺入ポイントを作った後にゆっくり挿入します。

再度ガイドピンを挿入し直す場合にはガイドピンに付着した骨粉を取り除いて下さい。ピンガイドとの固着の原因となります。

過剰な力を加えたガイドピンの刺入は、刺入位置の正確性を低下させる恐れがあります。



ラグスクリューピンガイドを抜いて、ラグデプスゲージを皮質骨に当たるまで挿入し、スクリューサイズを計測します。

ガイドピンマーキング部で計測します。



●テクニカルヒント

シースをロックさせることによりガイドピンの位置が決定するので、必ずロックした状態でガイドピンを挿入してください。ラグスクリューが5mm刻みのご用意となりますので、測定値が端数であればワンサイズダウンにしてください。

7. ARスクリューのドリリングとスクリュー挿入

TF-6700 : 4.0mm キャリブレートドリル ヤコブス



TF-6600 : 4.0mm キャリブレートドリル AO



TF-2401 : AR スクリュードライバー



TF-0401 : ストレートハンドル



4.0 mmキャリブレートドリル ヤコブス又は 4.0 mm キャリブレートドリル AO (以下「4.0 mmキャリブレートドリル」という) を AR ドリルガイドに挿入して皮質骨のみドリリングを行い、AR ドリルガイドを抜き取ります。

ドリリングの都度ドリルの溝に付着した骨粉を取り除いて下さい。ドリルガイドとの固着の原因となります。

AR スクリューはラグスクリューサイズの計測値に対し-25 mmを推奨します。

AR スクリューのサイズを計測して挿入する場合、P.12 の手順を参照してください。



ストレートハンドルに AR スクリュードライバーを取り付け、AR スクリューをゆっくりと挿入します。

AR スクリューはイメージ下で挿入します。過挿入はスクリューの固定力を低下させます。

●テクニカルヒント

スクリュー挿入の際は、インスツルメント及びインプラント破損防止の為、過度なトルクをかけないでください。

●テクニカルヒント

～ AR スクリューの計測 ～

TF-2501 : AR ピンガイド



TF-2600 : AR ピントロッカー



TF-1301 : 3.2mm ガイドピン 465mm



TF-2800 : AR デプスゲージ



AR ドリルガイドを抜き取り、AR ピンガイドと AR ピントロッカーを挿入します。

AR ピントロッカーで刺入ポイントを作った後に、AR ピントロッカーを外し、ガイドピンをゆっくり挿入します。

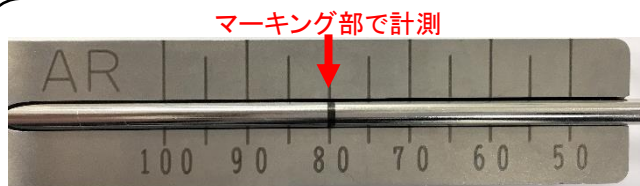
再度ガイドピンを挿入し直す場合にはガイドピンに付着した骨粉を取り除いて下さい。ピンガイドとの固着の原因となります。



AR ピンガイドを抜いて、AR デプスゲージを皮質骨に当たるまで挿入し、スクリューサイズを計測します。

ガイドピンマーキング部で計測します。

①ガイドピン先端刺入位置の目安は、ラグスクリュー用ガイドピンの先端とネイルの近位端を直線上に結んだ線（左図の赤線）を越えない位置となります。

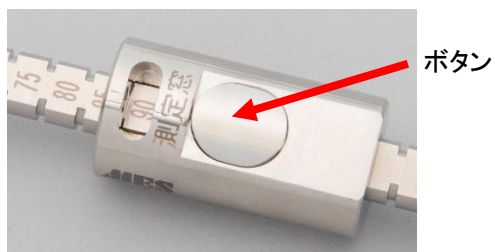


8. ラグスクリューのドリリング

TF-2900 : 10.3mm キャニュレイテッド ラグスクリュードリル



TF-3000 : ストッパーガイド



ボタン

測定窓内に目盛をセット

ストッパーガイドの「測定窓」内に、決定した数値の目盛りをセットします。

(ボタンを押してスライドさせてセットします)



測定値でドリリングを行うと、ガイドピンと同じところまでドリリングされます。

必要に応じて5mmほど短くセットして下さい。

但し、過度に短いドリリングはラグスクリューの挿入を困難にします。

●テクニカルヒント

ドリルがネイルに接触し、進まない場合はガイドピンが中心からずれていることが考えられます。ラグスクリューシースとドリルのあそびを利用してゆっくりドリリングをしてください。

9. ラグスクリューの挿入



TF-3101 : ラグスクリュードライバー

TF-3203 : ラグスクリューホルダー



TF-3602 : コンプレッションスリーブ



TF-5601 : コンプレッションスリーブスパナ

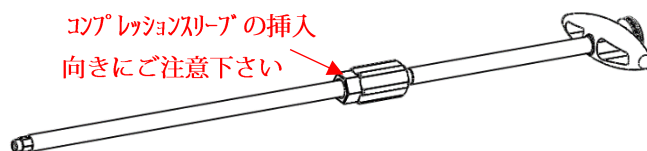


マーキングラインを合わせます

ラグスクリューをラグスクリュードライバーにセットします。

※コンプレッションスリーブを使用する際にはラグスクリューを取り付ける前に行ってください。

コンプレッションスリーブの挿入
向きにご注意下さい



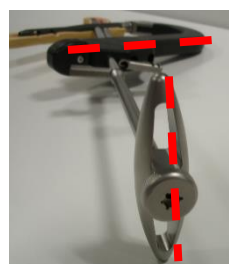
この時、ラグスクリュー端とドライバー先端のマーキングラインを合わせてセットします。

その後、ラグスクリューホルダーで固定させます。



ラグスクリューを挿入します。

この時、ラグスクリュードライバーが、ターゲットモジュールに対して、水平もしくは直角付近になるように調整します。



ラグスクリュードライバーが、
ターゲットモジュールに対して、
直角付近



ラグスクリュードライバーが、
ターゲットモジュールに対して、
水平付近

●テクニカルヒント

ラグスクリュー挿入でラグスクリューホルダーを叩く際は、インスツルメント及びインプラント破損防止の為、過度な力で叩かないでください。

コンプレッションスリーブはできる限り手で回し、スパナを使用する際は過度なコンプレッションが掛からないよう愛護的な操作をして下さい。

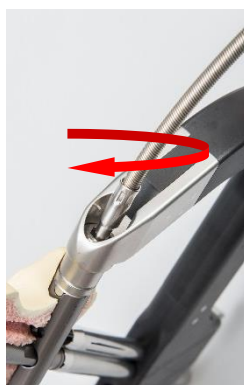
10. TSガイドのセット

TF-0401 : ストレートハンドル

TF-3401 : TS ドライバー



ストレートハンドルにTSドライバーをセットして、ネイル近位部から挿入します。



ネイルに内蔵されたTSスクロウの六角穴に、ドライバー六角部がはまったことを確認し、TSスクロウをラグスクロウに固定します。



ラグスクロウドライバーの回転が途中で止まることを確認します



ラグスクロウドライバーの回転が途中で止まることを確認します。

固定完了後、ラグスクロウホルダーを抜き取り、次にラグスクロウドライバーを抜き取ります。

ARスクロウが挿入されていてもロックをすることが可能です。

11. 遠位スクリューの挿入

① 遠位のターゲティング



コーティカルスクリューの固定方法は STATIC、DYNAMIC が選択できます。

STATIC
DYNAMIC

② 遠位のドリリング

TF-3700
ディスタールスクリューシース

TF-3801
ディスタールドリルガイド

TF-3900
ディスタールスクリュートロッカー

TF-6700
4.0mm キャリブレートドリル ヤコブス

TF-4000
ディスタールスクリューデプスゲージ

TF-6600
4.0mm キャリブレートドリル A0



ターゲットモジュールにシースとトロッカーを通し、皮膚に切開箇所をマークします。

切開を行い、シースとトロッカーを皮質骨まで挿入します。

シース先端が骨面に接触するまで挿入し、シースロックレバーを回転させシースを固定します。

ドリルを挿入する際、ドリル先端を皮質骨に軽く当てて2秒ほど回転させるなどして、確実に刺入ポイントを作った後ゆっくりドリリングしてください。

ドリリングの都度ドリルに付着した骨粉を取り除いて下さい。ドリルガイドとの固着の原因となります。

●テクニカルヒント

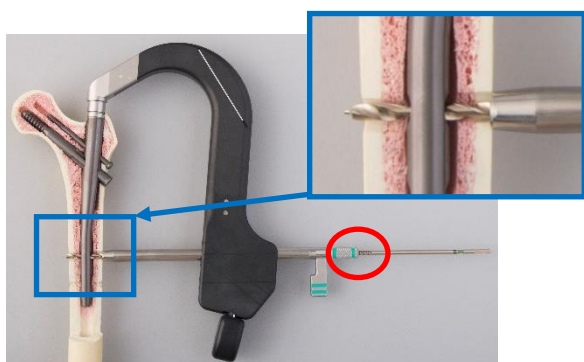
シースをロックさせることでドリル精度が増します。必ずロックした状態でドリリングしてください。

③ コーティカルスクリューの長さ決定

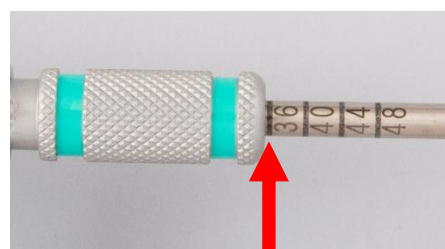
シースを確実に骨面に押し当て、シースロックレバーを回転させシースを固定しサイズ測定します。スクリューサイズ測定方法は、2通りで行えます。

コーティカルスクリューが2 mm刻みのご用意となりますので測定値が奇数であれば1 サイズUP してください。

A. ドリル目盛りで測定

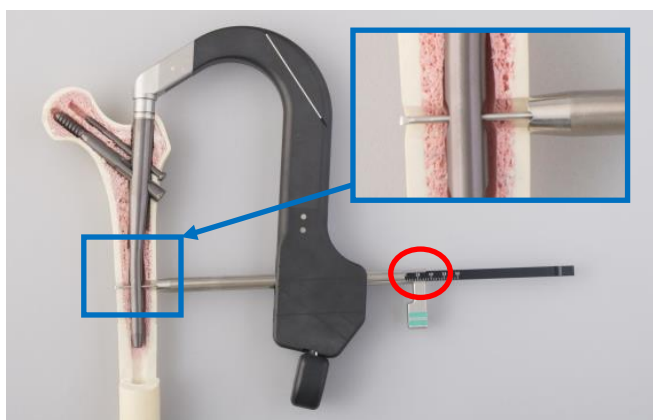


4.0 mmキャリブレードドリルを使ってドリリングした後、ドリル目盛りで計測します。

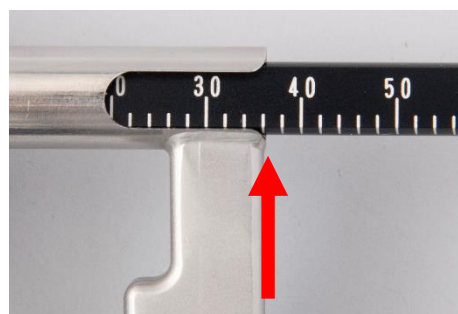


ドリルガイド端部で計測

B. フックデプスゲージで測定



ドリリング後ドリルガイドを抜き取り、フック付きデプスゲージを挿入しサイズを計測します。



シース端部で計測

④ コーティカルスクリューの挿入

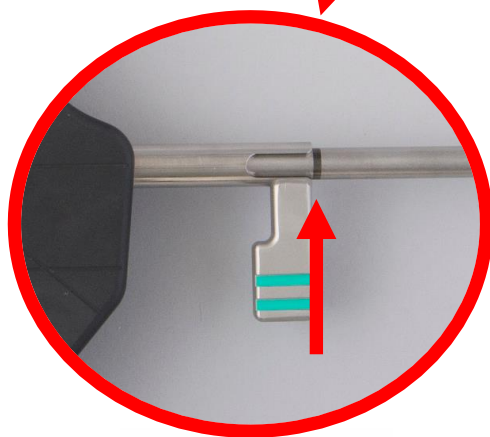
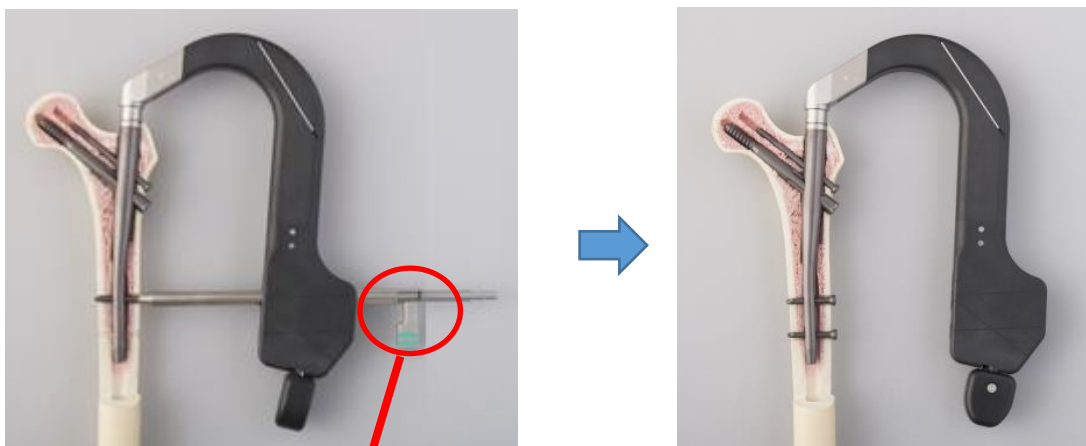
TF-4100 : 5.0mm コーティカルタップ

TF-6800 : コーティカルスクリュードライバー

TF-0401 : ストレートハンドル



コーティカルスクリュードライバーを使用してコーティカルスクリューを挿入します。



ドライバーのラインがシースの縁に合ったところが適切なスクリュー位置となります。

●テクニカルヒント

スクリュー挿入時（特に反対皮質骨挿入時）に大きなトルクをかけないと挿入できない場合、直ちに挿入をやめてください。

インスツルメント及びインプラントの破損防止の為、過度なトルクをかけないように注意してください。

骨質によりスムーズに挿入できない場合、5.0 mmコーティカルタップを使用しタッピングを行います。

12. インサイトジグの取り外し

TF-0500 : ボール六角ドライバー

TF-0301 : Tハンドル

TF-0401 : ストレートハンドル

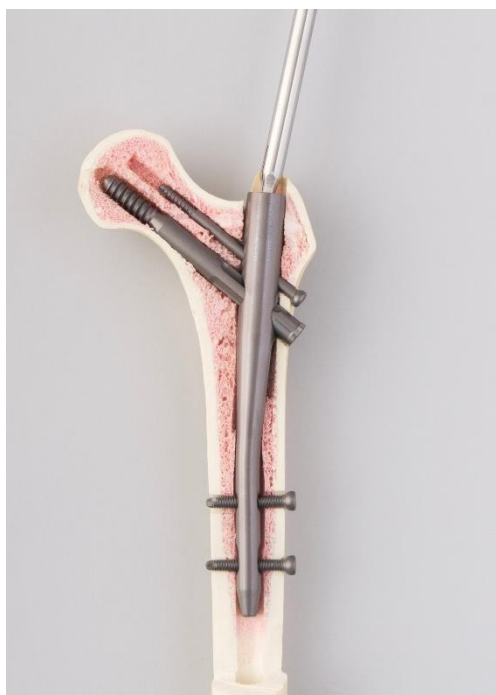


Tハンドルをボール六角ドライバーに取り付け、反時計方向に回してロッキングボルトを緩め、ターゲットモジュールを取り外します。

Tハンドルが体幹に当たる場合にはストレートハンドルの使用を推奨します。

13. セットキャップの取り付け

TF-4200 : セットキャップドライバー



症例に合わせ、セットキャップを選択します。
(0 mm, 5 mm)

セットキャップドライバーを使用して、セットキャップを取り付けます。

ネイルとセットキャップの間に軟部組織が挟まり正確に取り付けられないことがあります。

イメージで取り付けられたことを十分確認してください。

ネイルの抜去

0400-250
3.5mm 六角ドライバー



TF-3101
ラグスクリュードライバー



TF-3203
ラグスクリューホルダー



TF-4200
セットキャップドライバー



TF-5700
抜去用 TS ドライバー



TF-1300 3.2mm ガイドピン



TF-4301
エクストラクターボルト (抜去用)



TF-4401
インパクト ロッド (抜去用)



TF-1500
インパクトハンマー (抜去用)



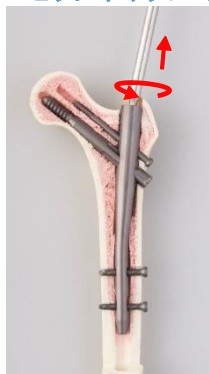
TF-0401
ストレートハンドル



TF-0301
Tハンドル

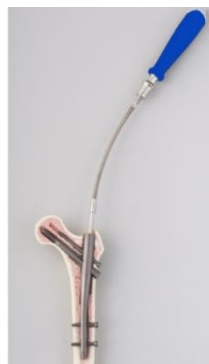


① セットキャップの抜去



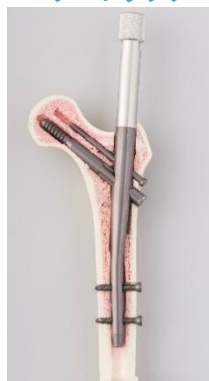
セットキャップドライバーを用いて反時計方向へ回し、抜き取ります。

② TSガイドの解除



抜去用 TS ドライバーを用い、TS ガイドを反時計方向へ回し、解除します。

③ エクストラクターボルトの装着



各スクリューの抜去の前にネイル近位部にエクストラクターボルトを取り付けます。

●テクニカルヒント

ネイルに 3.2 mm ガイドピンを挿入し、エクストラクターボルトの中空穴にガイドピンを通すと装着しやすくなります。

この場合、「④AR スクリューの抜去」及び「⑤ラグスクリューの抜去」に従って先にスクリューを抜去してください。

④ AR スクリューの抜去



六角ドライバーを用い、AR スクリューを反時計方向へ回し、抜き取ります。

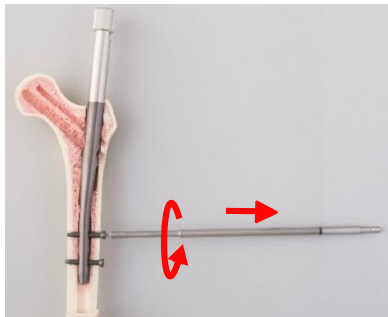
⑤ ラグスクリューの抜去



ラグスクリューをラグスクリュードライバーで保持し、ラグスクリューホルダーで固定させます。

ラグスクリュードライバーを反時計方向へ回し、抜き取ります。

⑥ コーティカルスクリューの抜去



六角ドライバーを用い、コーティカルスクリューを反時計方向へ回し、抜き取ります。

⑦ ネイルの抜去



叩く時、挟み込みに注意してください。

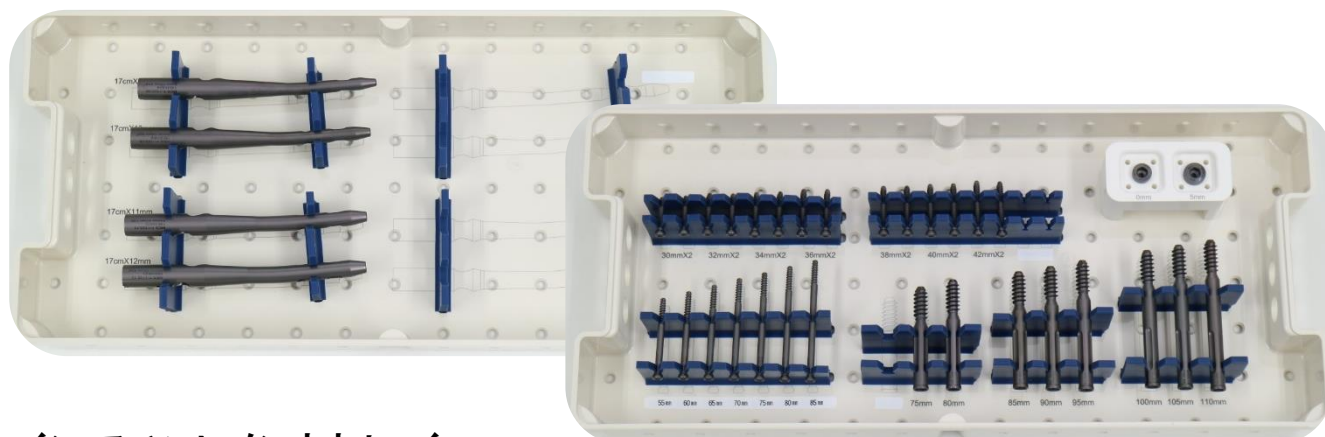
インパクトロッドにインパクトハンマーを通します。

インパクトロッドをエクストラクターボルトへ取り付けます。

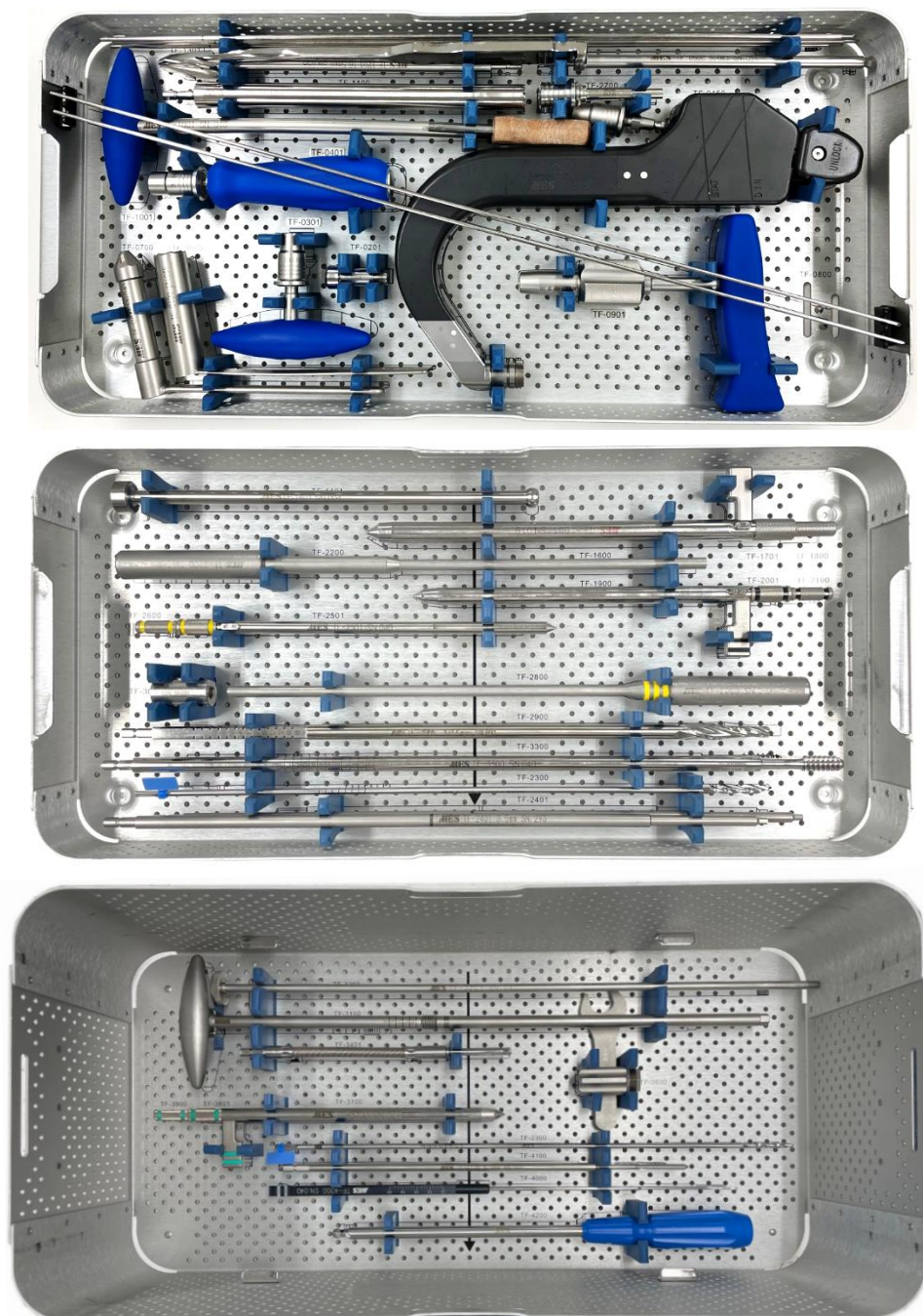
インパクトハンマーで上方に向かって叩き、ネイルを抜き取ります。

尚、抜去中はネイルを振り動かさないよう注意してください。

インプラントトレイ



インスツルメントトレイ



◆インプラント 承認番号 22500BZX00412000

TF ネイル

商品コード	規格
T-1125.09	9mm x 17cm x 125°
T-1125.10	10mm x 17cm x 125°
T-1125.11	11mm x 17cm x 125°
T-1125.12	12mm x 17cm x 125°

セットキャップ

商品コード	規格
T-1500.00	0mm
T-1500.05	5mm

ラグスクリュー

商品コード	規格
T-1200.075	75mm
T-1200.080	80mm
T-1200.085	85mm
T-1200.090	90mm
T-1200.095	95mm
T-1200.100	100mm
T-1200.105	105mm
T-1200.110	110mm

アンチローテーション ラグスクリュー

商品コード	規格
T-1210.55	55mm
T-1210.60	60mm
T-1210.65	65mm
T-1210.70	70mm
T-1210.75	75mm
T-1210.80	80mm
T-1210.85	85mm

コーティカルスクリュー

商品コード	規格
T-1300.30	30mm
T-1300.32	32mm
T-1300.34	34mm
T-1300.36	36mm
T-1300.38	38mm
T-1300.40	40mm
T-1300.42	42mm

◆インスツルメント

届出番号 13B1X00142000034

商品コード	品名
TF-0150	ターゲットモジュール 125° × 17 cm
TF-0201	ロッキングボルト
TF-0301	T ハンドル
TF-0401	ストレートハンドル
TF-0500	ボール六角ドライバー
TF-0600	プロテクションキャニュラ
TF-0700	スプリットロッカー
TF-0800	2.5mmロングガイドピン
TF-0901	ガイドピングリッパー
TF-1001	キャニュレイテッドカーブオウル
TF-1100	ホローリーマー
TF-1201	16.5mm キャニュレイテッドエントリーリーマー
TF-1300	3.2mm ガイドピン 400mm
TF-1301	3.2mm ガイドピン 465mm
TF-1401	インパクトター
TF-1500	インパクトハンマー
TF-1601	ラグスクリューシース
TF-1702	ラグスクリューピンガイド
TF-1801	ラグスクリュートロッカー
TF-1900	AR シース
TF-2001	ARドリルガイド
TF-2100	ARドリルトロッカー
TF-2200	ラグデプスゲージ
TF-2401	AR スクリュードライバー
TF-2501	AR ピンガイド
TF-2600	AR ピントロッカー
TF-2700	パワードライブクイックコネクタ
TF-2800	AR デプスゲージ
TF-2900	10.3 mmキャニュレイテッドラグスクリュードリル
TF-3000	ストップバーガイド
TF-3101	ラグスクリュードライバー
TF-3203	ラグスクリューホルダー
TF-3300	ラグスクリュータップ
TF-3401	TSDドライバー
TF-3602	コンプレッションスリーブ
TF-3700	ディスタールスクリューシース
TF-3801	ディスタールドリルガイド
TF-3900	ディスタールスクリュートロッカー
TF-4000	ディスタールスクリューデプスゲージ
TF-4100	5.0 mmコーティカルタップ
TF-4200	セットキャップドライバー
TF-4301	エクストラクターボルト
TF-4401	インパクトターロッド
TF-5601	コンプレッションスリーブスパナ
TF-5700	除去用TSDドライバー
TF-5900	ヤコブス-ハドソン変換アタッチメント
TF-6600	4.0mm キャリブレードドリル AO
TF-6400	TF 整備エレバトリウム(本体)
TF-6500	TF 整備エレバトリウム(打込器)
TF-6700	4.0 mmキャリブレードドリル ヤコブス
TF-6800	コーティカルスクリュードライバー
0400-250	3.5 mm六角ドライバー
TF-9901	トゥリアス フェモラルネイル用インプラントケース
TF-9902	トゥリアス フェモラルネイル用インスツルメントケース

お問い合わせ先

MES 株式会社 エム・イー・システム
Medical Engineering System

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-13-4 TEL:03-3375-6767(代表)



改良などの為、予告なく変更することがありますので、ご了承下さい。

MNTF1 017